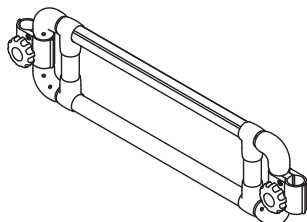
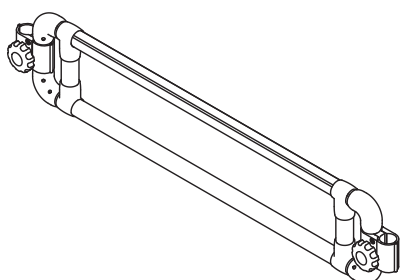


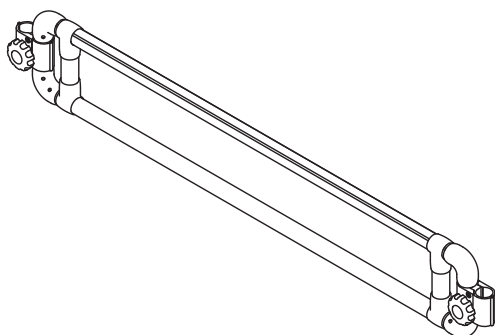
# 取扱説明書



CKA-E60 [質量：2.7kg]



CKA-E90 [質量：3.3kg]



CKA-E120 [質量：3.8kg]

## たちあっぷ® FB タイプ用 つながるくん®

品番：CKA-E60・CKA-E90・CKA-E120

たちあっぷを2台、または3台連結して歩行補助  
手すりが構築でき、動線を確保することができます。

### 目次

！ 安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. ご使用方法	3
3. 設置上のご注意	3
4. 構成部品	4
5. 組み立てにあたって	4
6. 組立手順	6
7. ご使用前の確認	13
8. お手入れ方法	14

### お買い上げありがとうございます

販売店様：この説明書は必ずお客様に説明してからお渡してください。



ご利用者様：使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

※「たちあっぷ」の取扱説明書と合わせてご覧ください。


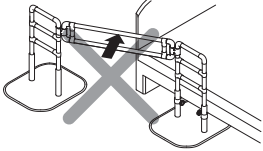

※本書で「たちあっぷ」と表現している部分は、特にことわりを記載している場合を除き、弊社商品「たちあっぷ」を指します。



## ！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

<b>警告</b>	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
<b>注意</b>	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

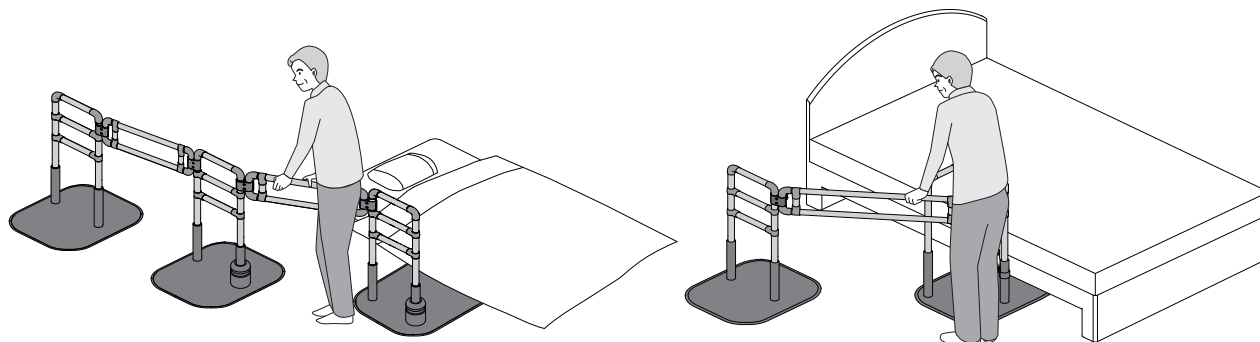
## 1. 使用上のご注意

<b>警告</b>	
 禁止	<p>●歩行補助以外の用途では使用しない。 踏み台、いす、はしごなどの用途では使用しないでください。</p>
	<p>●水平方向に力を加えない。 手すりに力をかけた際に、「たちあっぷ」のベースが持ち上がり転倒事故やケガの原因になります。 手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。</p> 
	<p>●子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。 事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、手すりの上に乗ったりしないでください。</p>
	<p>●車いすからの立ち上がりには使用しない。 移乗の際に転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●濡れた手、脚で使用しない。 滑って転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●「つながるフレーム」が濡れた状態で使用しない。 滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。</p>
	<p>●予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。 利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。 ※重度者（特に介護度 4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行った上で使用してください。 また、ご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談し、適切な処置を受けてください。</p>
 必ず守る	<p>●使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。 お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。</p>
	<p>●固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況を確認の上、使用する。</p>

<b>注意</b>	
 禁止	<p>●2人以上同時に使用しない。 「つながるくん」は1人用です。</p>
 必ず守る	<p>●使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。 ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。</p>
	<p>●移動させる場合は、「連結金具」と「つながるフレーム」を外し、「たちあっぷ」のベースもしくはスタンド部を持って移動させる。 手すりを持ち上げるとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。 床面を傷つけない程度に持ち上げてから移動してください。 移動後、「6. 組立手順」に従って組立てを行ってください。</p>
	<p>●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>

## 2. ご使用方法

- 直近の歩行補助としてご使用ください。
- つながるフレームを軽く持ちながら、つたい歩きをしてください。



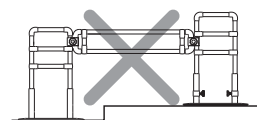
## 3. 設置上のご注意

### ⚠ 警告

<div> <div>禁止</div> </div>	● 弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
	● 改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因になります。
<div> <div>必ず守る</div> </div>	● 設置後、ガタつき・ねじやツマミのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。 取付けが不安定な状態で使用すると破損や事故、ケガの原因になります。
	● 「つながるくん」は必ず両側に「たちあっぷ」を取り付けた状態で使用する。 片側だけに取付けた状態では安全性が保てないおそれがあります。

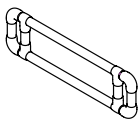

### ⚠ 注意

<div> <div>禁止</div> </div>	● 「つながるくん」で「たちあっぷ」を4台以上連結しない。 事故やケガの原因になります。
	● 指定締め付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。（「6. 組立手順」で示すトルク値に従って締め付けてください。）
	● 屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
	● 火のそば・熱器具（ストーブ等）の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
	● 水やお湯に濡れる場所では使用しない。 変質や破損するおそれがあります。
<div> <div>必ず守る</div> </div>	● 「つながるくん」で連結する「たちあっぷ」は同一平面上に設置する。 段差のある場所や斜面には設置しないでください。
	● 一般家庭の室内で使用する。
	● 平らで水平な場所で使用する。
	● 組み立ては納入業者が行う。
	● 「たちあっぷ」をベッドサイドに置く場合は、ベッドの種類に制限があるので確認する。 詳しくは「たちあっぷ」の取扱説明書をご覧ください。
	● 「ベットでとまるくん」は、「たちあっぷ」とベッドの間にすき間ができないように設置する。
	● 定期的にガタつき・ねじやツマミのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。



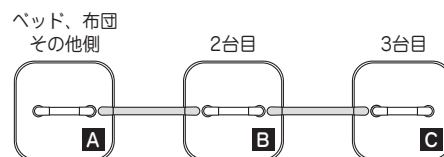
## 4. 構成部品

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。

部 品 図	名 称	材 質	サ イ ズ	数 量
	つながる フレーム	パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ	フレーム 60： 639 × 191 × 39mm	各 1
		ジョイント：プラスチック、アルミ合金	フレーム 90： 939 × 191 × 39mm	
			フレーム 120： 1239 × 191 × 39mm	
	連結金具	本 体：アルミ合金	87 × 60 × 68mm	2
		ツマミ部：プラスチック、スチール		
		ね じ：ステンレス		

## 5. 組み立てにあたって

- 「連結仕様一覧表（P5）」と合わせてご確認ください。
- ベッド・布団・その他に設置した「たちあっぷ」からの連結を行う場合、ベッド・布団・その他に設置した「たちあっぷ」を**A**、2台目に連結した「たちあっぷ」を**B**、（3台目も連結した場合）3台目の「たちあっぷ」を**C**とします。



### ベッドからの移動補助に使用する場合

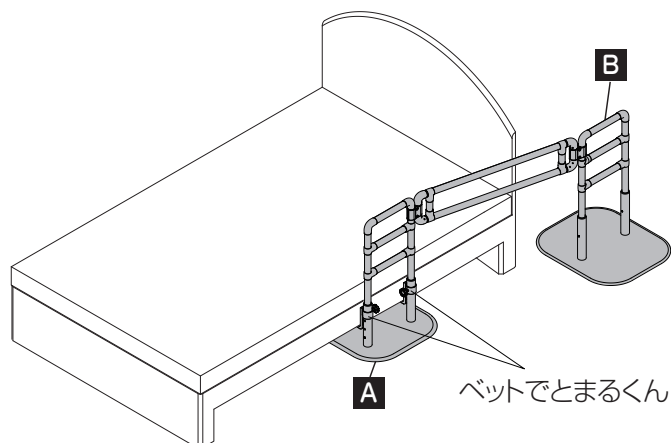
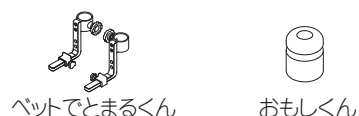
#### 【たちあっぷ 2 台を連結した場合】

- ① **A** には「ベッドでとまるくん」の取付けが必要です。  
この場合は **B** への「おもしろくん」の取付けは不要です。
- ② 「ベッドでとまるくん」が取付けできないベッドの場合には、**A** **B** いずれかに「おもしろくん」が必要です。

#### 【たちあっぷ 3 台を連結した場合】

- ① **A** には「ベッドでとまるくん」の取付けが必要です。  
この場合は **B** または **C** に「おもしろくん」が必要です。
- ② 「ベッドでとまるくん」が取付けできないベッドの場合は、**A** **B** **C** のいずれか 2 台に「おもしろくん」が必要です。  
※「おもしろくん」は各ベースに取り付けてください。

- 「ベッドでとまるくん」、「おもしろくん」は、「たちあっぷ」の安定性を向上させるオプション品です。



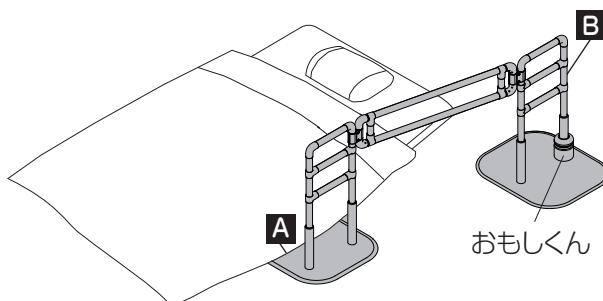
### 布団、その他からの移動補助に使用する場合

#### 【たちあっぷ 2 台を連結した場合】

**A**・**B** のどちらかに「おもしろくん」が必要です。

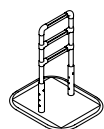
#### 【たちあっぷ 3 台を連結した場合】

**A** **B** **C** のいずれか 2 台に「おもしろくん」が必要です。  
※「おもしろくん」は各ベースに取り付けてください。

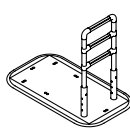


# たちあっぷ 連結仕様 一覧表

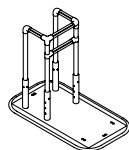
「つながるくん」、「ベットでとまるくん」、「おもしろくん」を使用した、「たちあっぷ」の連結仕様を上面図で表した一覧表です。



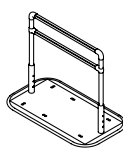
CKA-01FB



CKA-05FB

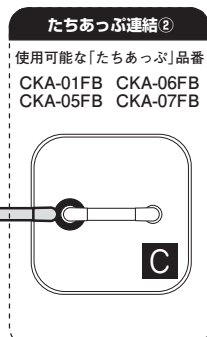
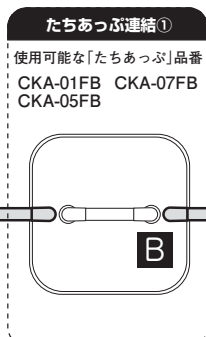
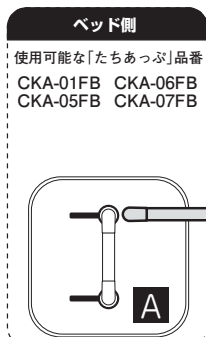
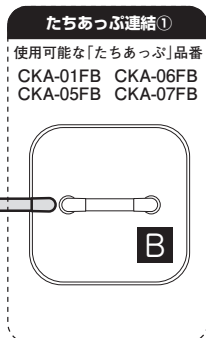
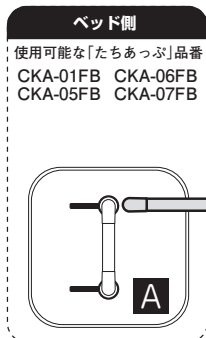


CKA-06FB

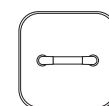
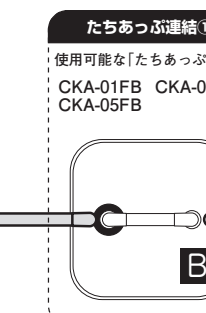
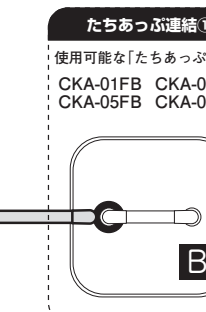


CKA-07FB

## ベッドからの連結



## 布団、その他からの連結



たちあっぷ



つながるくん



ベットでとまるくん



おもしろくん

## 6. 組立手順

※ 組み立ては納入業者が行ってください。

- 六角レンチ (対辺 5mm) は「たちあっぷ」に添付されているものをご使用ください。
- 使用する「たちあっぷ」は同じ高さに調整しておいてください。

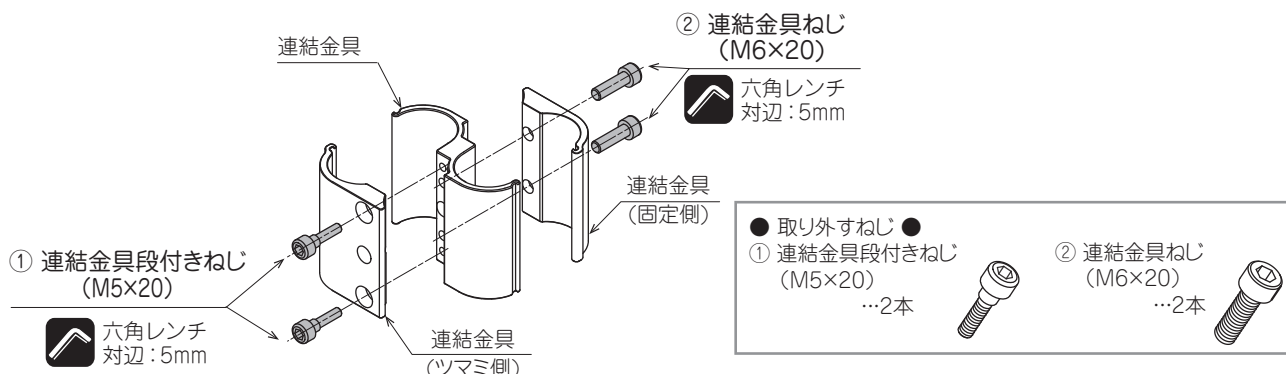
### 6-1-1. 「ベットでとまるくん」、または「おもしろくん」の取付け

「連結仕様 一覧表 (P5)」をご確認いただき、「ベットでとまるくん」、または「おもしろくん」の取付指示がある連結をする場合は、先に取り付けてください。

取付方法については、「ベットでとまるくん」の取扱説明書、または「おもしろくん」の取扱説明書をご覧ください。

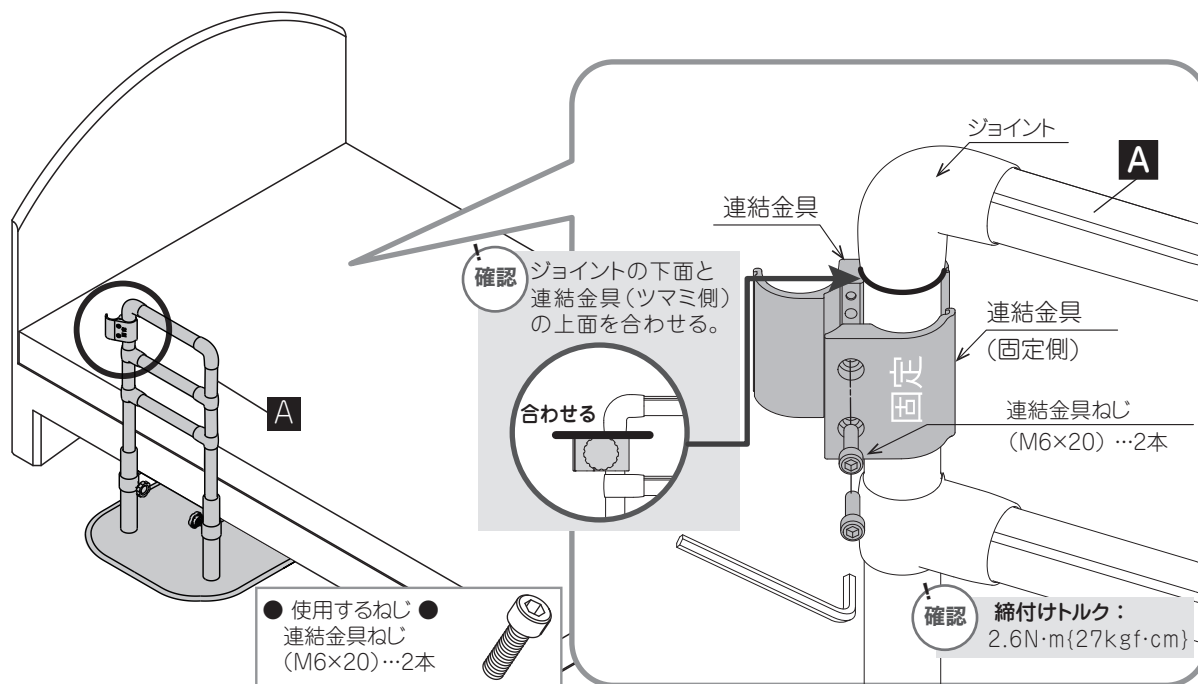
### 6-1-2. 連結金具のねじの取外し

①、②の連結金具のねじ 計 4 本を取り外してください。



### 6-1-3. 連結金具 (固定側) の取付け (1)

「たちあっぷ手すりフレーム **A**」に、連結金具と連結金具 (固定側) をねじで固定してください。

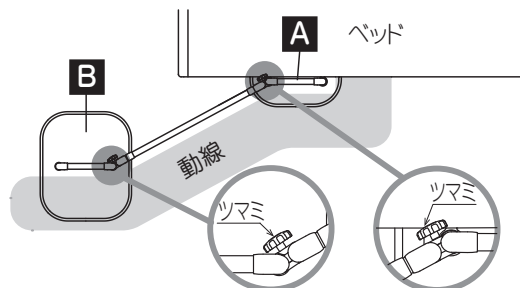


## ⚠ 注意



必ず守る

- 連結金具 (固定側) は、必ず「たちあっぷ手すりフレーム」側に取り付ける。
- 連結金具はツマミが動線 (利用者が通るところ) の逆側にくるように取り付ける。



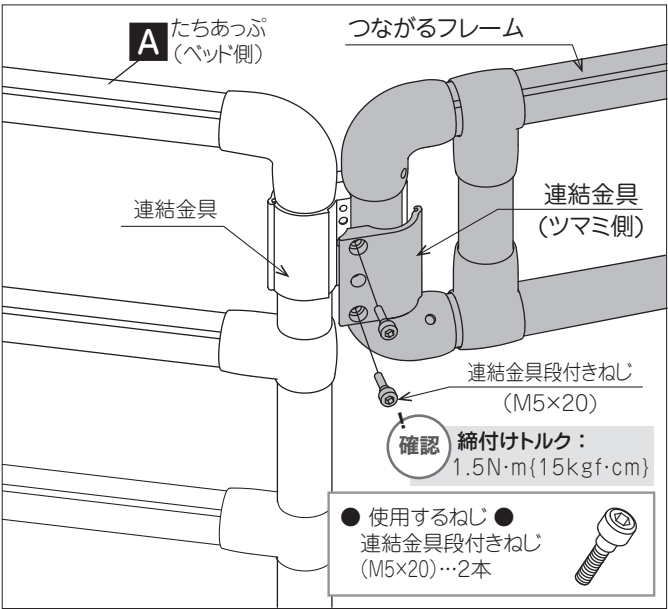


6-1-4. 「つながるフレーム」の取付け (1)

6-1-3に「つながるフレーム」と「連結金具(ツマミ側)」を右図の向きに取り付けてください。

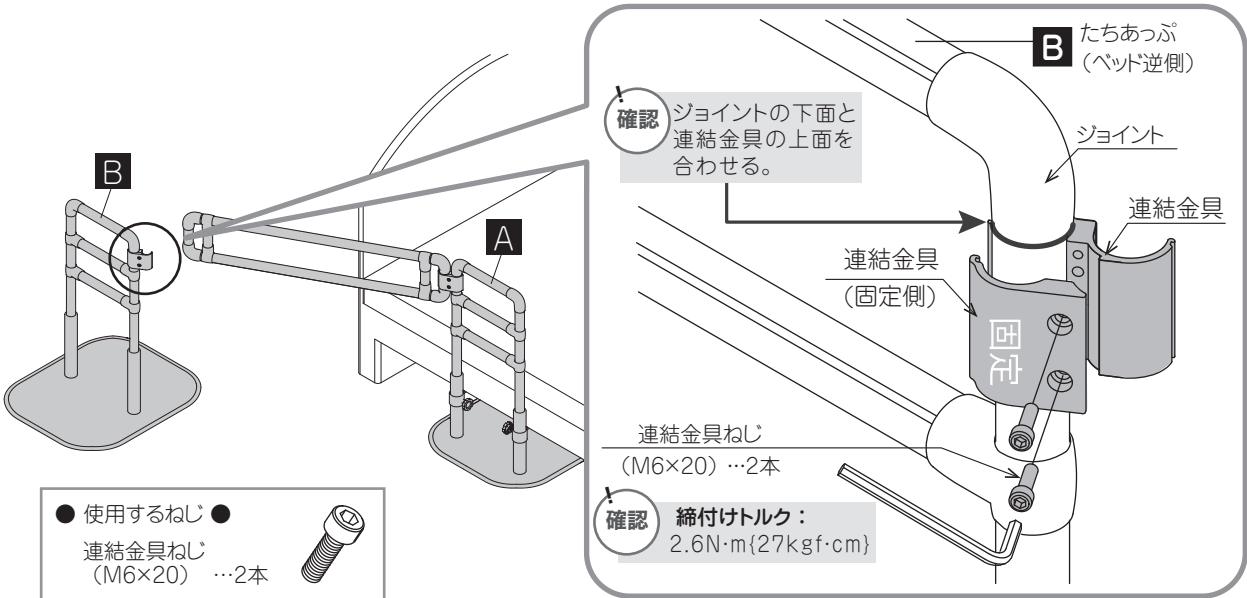
※連結金具段付きねじ (M 5 × 20) を締め付けた時点では、  
「つながるフレーム」と連結金具は固定されません。  
(パイプが動く状態です)

<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	●連結金具 (ツマミ側) は、必ず「つながるフレーム」側に取り付ける。



6-1-5. 連結金具 (固定側) の取付け (2)

連結先の「たちあがら手すりフレーム B」に、「連結金具」と「連結金具 (固定側)」を取り付けてください。



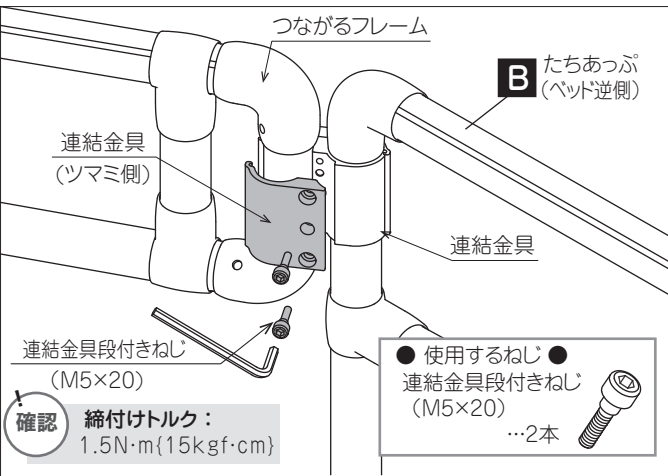
<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	●連結金具 (固定側) は、必ず「たちあがら手すりフレーム」側に取り付ける。

6-1-6. 「つながるフレーム」の取付け (2)

6-1-4で取り付けした「つながるフレーム」と、6-1-5で取り付けした「連結金具」を「連結金具 (ツマミ側)」のねじで固定してください。


※連結金具段付きねじ (M 5 × 20) を締め付けた時点では、  
「つながるフレーム」と連結金具は固定されません。  
(パイプが動く状態です)

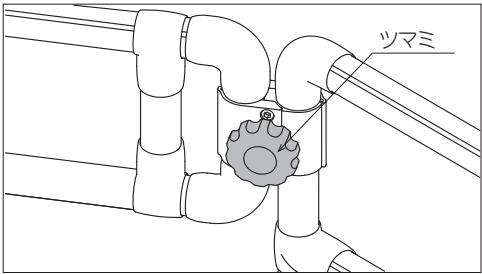
<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	●連結金具 (ツマミ側) は、必ず「つながるフレーム」側に取り付ける。



6-1-7. ツマミの取付け

連結金具にツマミを取り付け、しっかりと締め付けてください。


⚠ 注意	
 必ず守る	●連結金具は「つながるフレーム」を完全に固定するものではないので安全には十分配慮する。 必ずツマミをしっかりと締め付けてから、ご使用ください。



6-1-8. (たちあっぷを 3 台連結する場合) 3 台目の「たちあっぷ」の連結

6-1-1～6-1-7 の手順を繰り返し、3 台目の「たちあっぷ」 ともう 1 つの「つながるくん」を連結させてください。

6-1-9. 「つながるくん」の取付確認

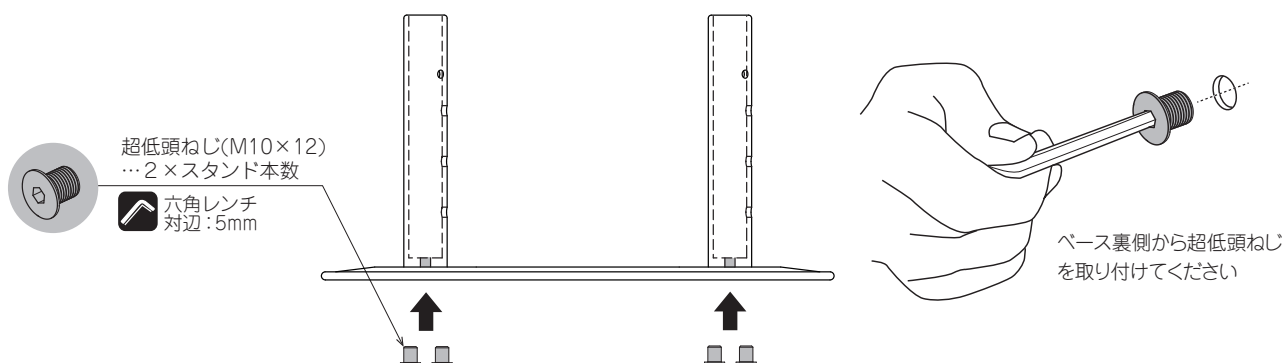
⚠ 注意	
 必ず守る	●組み立て後、ガタつき・ねじやツマミのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。



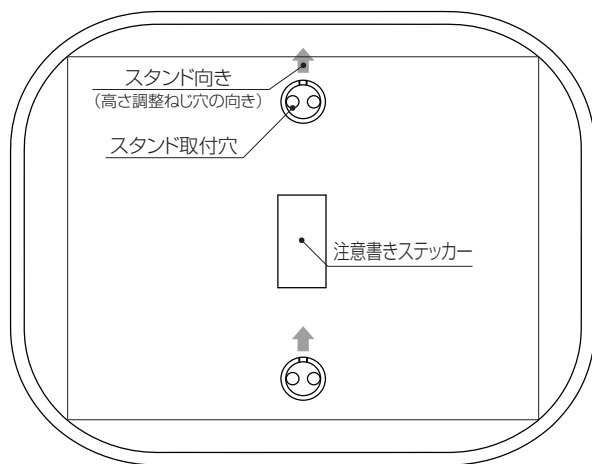
## たちあっぷ CKA-01FB 組立手順

### 6-2-1. ベースとスタンドの取付け

スタンド取付位置を確認し、ベース裏側より超低頭ねじ 2 本でスタンドを取り付けてください。  
六角レンチで仮止めの状態にしておきます。※取付位置は<スタンド取付位置図>をご参照ください。

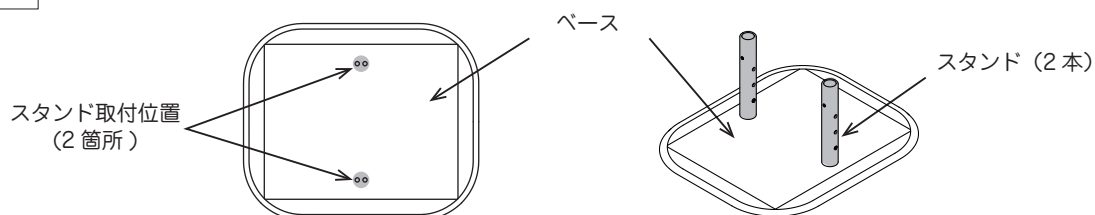


#### <スタンド取付位置図>



品番	スタンド数量
CKA-01FB	2 本

CKA-01FB



### ⚠ 注意

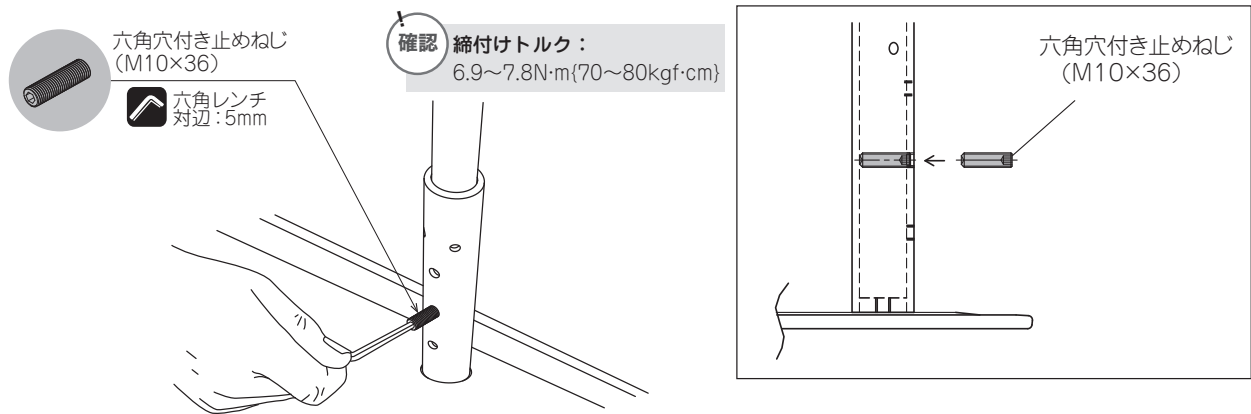


必ず守る

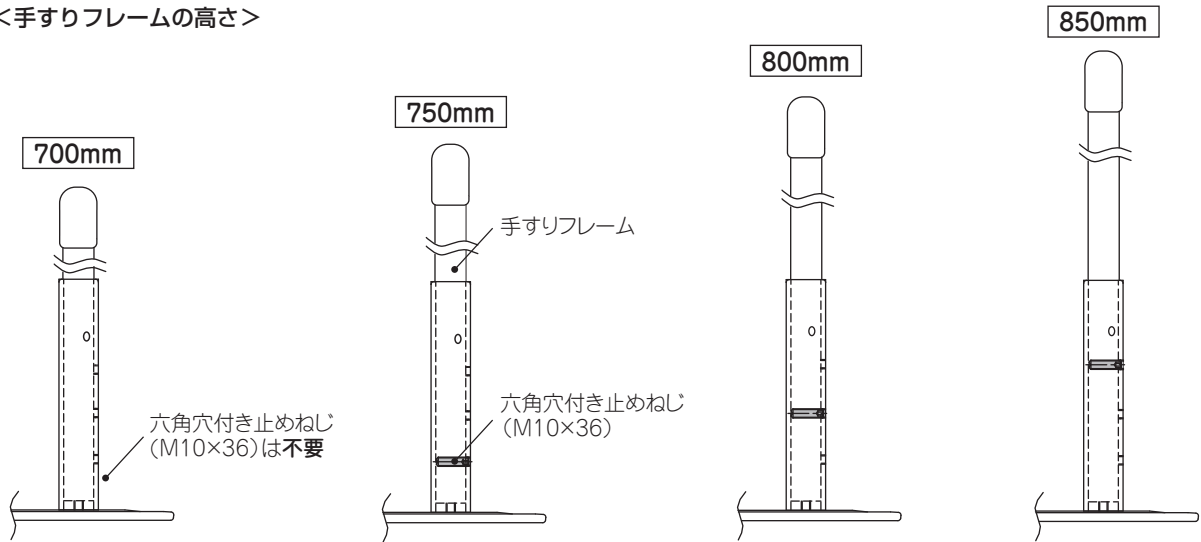
- スタンド・ベース及び手すりフレームは必ず指定の位置に指定のねじで固定する。  
他の位置にはスタンドを取り付けないでください。
- ねじは、ねじ穴に対してまっすぐ締め付ける。  
無理に締め付けるとねじ山の破損の原因になります。

6-2-2. 手すりフレームの高さ調整

手すりフレームの高さは 700mm から 850mm の範囲で 4 段階の位置決めができます。  
手すりフレームの高さを決め、高さ調整ねじ穴に六角穴付き止めねじを奥まで締め付けてください。



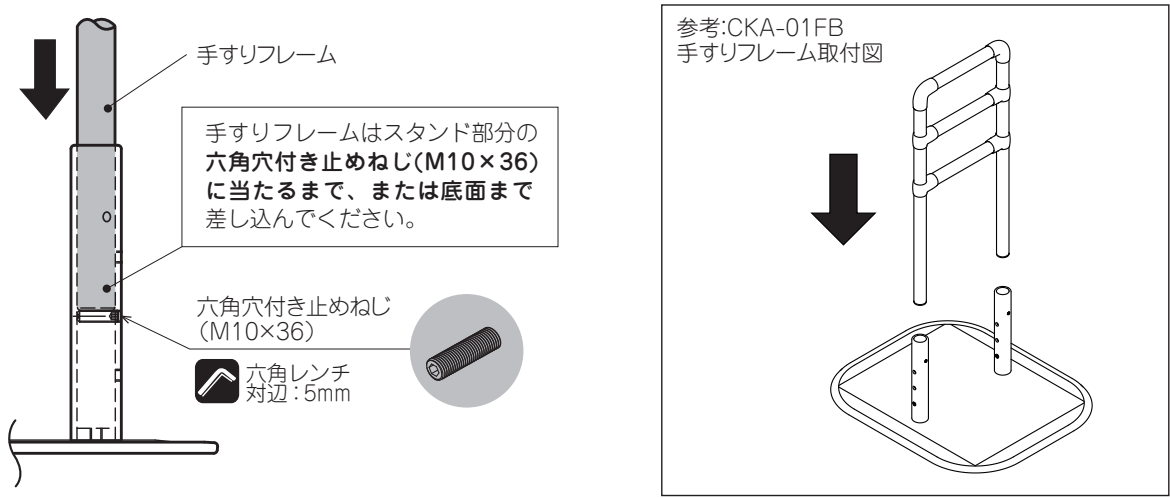
<手すりフレームの高さ>



⚠ 注意	
禁止	● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 （ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）
必ず守る	● 六角穴付き止めねじ（M10 × 36）のねじ頭がスタンド面から出していないことを確認する。 ケガの原因になります。

### 6-2-3. 手すりフレームの取付け

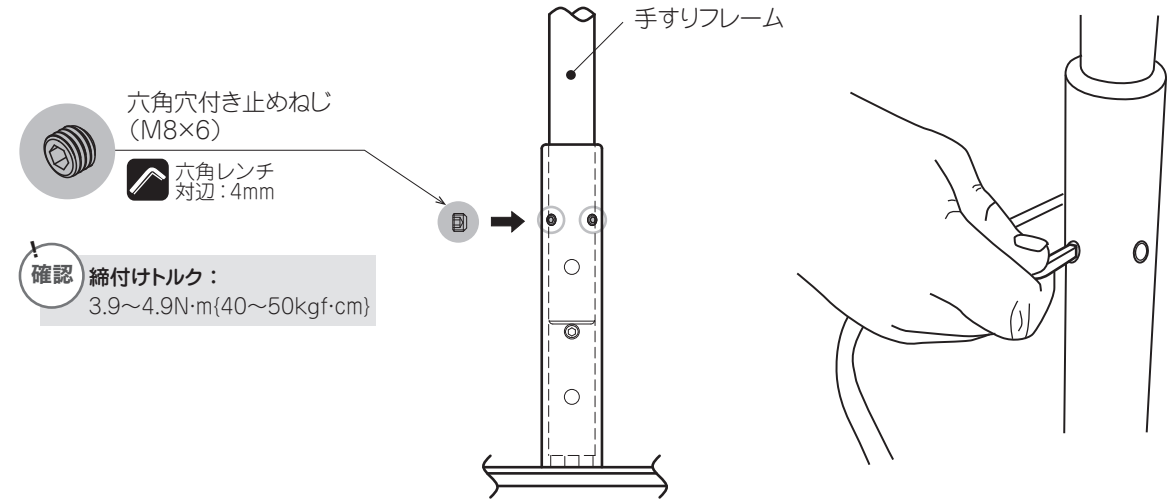
手すりフレームをスタンドに差し込んで、スタンド底面（手すりフレーム高さが 700mm の場合）、または六角穴付き止めねじ（手すりフレーム高さが 750・800・850mm の場合）に確実に当ててください。手すりフレームの高さは左右同じになるように、六角穴付き止めねじの位置を決めてください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	●手すりフレームの高さは左右同じになるように設定する。
	●手すりフレームはスタンド底面（手すりフレーム高さが 700mm の場合）または六角穴付き止めねじ（M10 × 36）（手すりフレーム高さが 750・800・850mm の場合）に当たるまで差し込む。 差し込みが不十分ですと、ガタつきの原因になります。

### 6-2-4. 手すりフレームの固定

手すりフレームを差し込み、六角穴付き止めねじ 2箇所を六角レンチで締め付け、手すりフレームを固定してください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	●六角穴付き止めねじ（M8×6）のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。

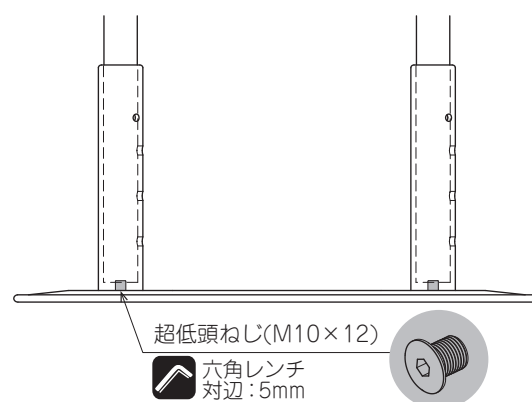
※繰り返し手すりフレームの高さ調整をした場合、高さによっては傷や六角穴付き止めねじ（M8×6）の跡が見える場合があります。

### 6-2-5. 超低頭ねじの締め付け

6-2-1 で行った仮止め状態の超低頭ねじを六角レンチで確実に締め付けてください。



**確認**  
締め付けトルク：  
9.8～11.76N・m{100～120kgf・cm}



### 6-2-6. スタンド・手すりフレーム共にガタつきがないか確認

<b>⚠ 注意</b>	
<b>!</b> 必ず守る	●組み立て後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。

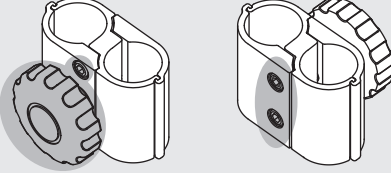
## 7. ご使用前の確認

！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじやツマミのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。

①

つながるフレームにガタつきはありませんか？ →ガタつきや異音がある場合は、 連結金具のねじやツマミをしっかりと 締め付けてください。 (参考：P6～8) 【締付け該当箇所】	チェック✓
---	-------



②の確認へ

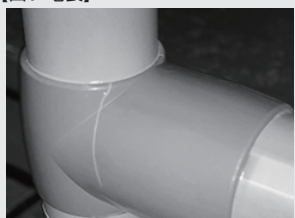
②

手すりや金属ジョイントにガタつき はありませんか？ →ガタつきや異音がある場合は ご使用を中止して、お買い上げの 販売店またはレンタル事業者、 ケアマネジャーにご相談ください。	チェック✓
---	-------

CKA-E90

③

プラスチックジョイント部分に 亀裂(白い筋)などの異常は ありませんか？ →異常があった場合はご使用を 中止して、お買い上げの販売店 またはレンタル事業者、ケア マネジャーにご相談ください。 【白い亀裂】	チェック✓
---	-------





③の確認へ

上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

## 8. お手入れ方法


### 8-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠ 注意	
 禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。 必ず中性洗剤を使用してください。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
 必ず守る	● 直射日光は避けて、陰干しする。



### 8-2. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき・ねじやツマミのゆるみ・部品の破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 定期的にガタつき・ねじやツマミのゆるみ・部品の破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。


### 8-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。  
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～300 倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	● オゾンガス・ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

### 8-4. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管すると、変形、結合部の外れの原因になります。

### 8-5. 長期使用について（手すりフレーム）

- 経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を手すりフレームに表示しております。これは、使用開始時期とは異なります。
- 安全使用期間とは、たちあっぷシリーズを一般家庭にてご使用いただき、適正な取扱い・維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、製造年月日から想定される期間です。  
これは、無償保証期間とは異なります。
- 一般家庭以外の不特定多数の方が使用される施設や病院などで使用される場合は、安全使用期間よりも劣化が早まるおそれがあります。
- 経年劣化とは、長期間にわたる使用や処置の他、雨風・湿気・温度変化・日照などによる品質の低下からくる劣化のことをいいます。



#### 想定上の安全使用期間 8 年

安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるケガなどの事故に至るおそれがあります。

[illegible]



※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

## ● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ  
*kaigo-web*  
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護機器課  
〒072-0007 北海道美唄市東6条北 8-2-1  
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護機器課  
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4  
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 広 島 支 店 福祉介護機器課  
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17  
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 仙 台 支 店 福祉介護機器課  
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280  
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 静 岡 支 店 福祉介護機器課  
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1  
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 九 州 支 店 福祉介護機器課  
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1  
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

■ 関 東 支 店 福祉介護機器課  
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88  
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護機器課  
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2  
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 東 京 支 店 福祉介護機器課  
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3  
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 大 阪 支 店 福祉介護機器課  
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1  
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

09102301

DW-122-05